

分科会 8月10日(木)13:30~17:30 8月11日(金)9時~14時30分

各地の学校・地域で取り組まれた授業実践や研究を交流する場です。

*分科会別レポート一覧は、歴教協のHPに掲載されています。また、『歴史地理教育』2023年7月号に掲載されます。

*第1分科会は現地参加のみ、他の分科会はオンライン参加も可能です。

第一テーマ(歴史と現代)

第1分科会 地域の掘りおこし 日本の各地域には、まだまだ知られていない埋もれた歴史があります。それを掘りおこす方法を学び合い、教材化していく努力を続けていきます。	第2分科会 日本前近代 これまでの日本前近代分科会の成果に学びつつ、小学校から高校までの授業実践や教材研究の報告を通して、豊かな前近代史像認識と授業づくりを中心に議論します。
第3分科会 日本近現代 地域に根ざした歴史研究のあり方、研究成果を教材化する方法、実践を通じ、子どもの歴史認識をどう育てるかを考え合います。敗戦78年にどのような近現代史学習が必要か考え合しましょう。	第4分科会 世界 導入1年目の「歴史総合」の授業実践が報告されます。また、「世界史探究」の授業づくりを視野に入れ、前近代・近現代の豊かな歴史認識を獲得し、現代の諸課題とどう向き合うかを学び合います。
第5分科会 憲法と現代の社会 憲法改悪の情勢を踏まえて憲法学習のあり方を実践的に検討します。高校の新科目「公共」での憲法の扱い方や18歳成人をふまえた主権者教育についても討議します。	第6分科会 思想・文化・文化活動 地域の歴史や文化財の価値を掘りおこしたり、地域で行われてきた活動を新たな視点でその意味を考えながら保存・継承していく活動を報告し合います。
第7分科会 現代の課題と教育 現代社会に存在する、様々な民族・文化の共存と人権問題に目を向けます。地域の直面している課題から学び、レポート討議を通じて現代の課題を追っていきます。	第8分科会 平和教育 世界戦争の危機に直面しているいま、戦争の歴史を学び、戦争の記憶を受け継ぐこと。戦争、とりわけ核の脅威をわがこととして受けとめるために、全国からの実践を交流し、討議を深めます。

第二テーマ(地域・子ども・授業)

第9分科会 幼年・小学校低学年 子どもたちの健やかな発達には、ITを活用しても「ヒト・モノ・コト」の実体験と他者との関わり合いは欠かせません。気づきの質を高めるにはどうしたらよいのか、子どもから始まる生活科の授業を考えましょう。	第10分科会 小学校3・4年 初めて社会科学習に出会う子どもたちの期待に応える社会科づくりを考えます。学校や地域の歴史や文化財、また地域が抱える課題をどう教材化して授業を進めるか具体的実践を通して交流します。
第11分科会 小学校5年 地域も日本も世界もなんでもあります。5年生はだから面白いんだな、コメ、牛、ミカン、国境や政治のことも。教科書があれば全部やります。みなさん、劇的に授業を変えてみませんか。	第12分科会 小学校6年 子どもたちの現状をふまえた教材や授業のあり方を考えます。何よりも、子どもたちの視点を大切に、地域に根ざした歴史、地域、政治学習などを交流し合しましょう。
第13分科会 地域の中の子どもたち 子どもたちは、学校外で、どのように過ごしているのでしょうか。学童保育の歴史や現状、地域の子ども会、地域の子育てネットワーク、学校との連携、遊びの文化等の視点から見つめ討議します	第14分科会 中学校地理 地理学習で何を大切に、どんな構想で学習活動を組んできたか、世界や日本の現実を踏まえ、どのような地理学習を進めていくのかを交流しましょう。

<p>第15分科会 中学校歴史 現代を生きる中学生にとって、歴史を学ぶとはどういうことでしょうか。中学生が切実感を持って学びたいとする歴史学習とはどんなものかを実践をもとに話し合ひましょう。</p>	<p>第16分科会 中学校公民 ロシアのウクライナ侵攻という現実。平和、人権、民主主義を掲げ、未来を形成する主権者を育む中学校で、様々な現実を自分ごととして考え行動する市民をどう育てるか、じっくり議論します。</p>
<p>第17分科会 高校 新学習指導要領が2022年度より始まり、今回の改訂で「歴史総合」「地理総合」「公共」という新科目が登場しました。歴教協の実践の積み上げをもとに新科目の可能性について探ります。</p>	<p>第18分科会 大学 昨年に続いて現在の学生に不足している歴史と現代社会とのつながりについて意識させる授業方法や、高校学習指導要領改訂に伴う教職課程の内容検討をテーマとします。</p>
<p>第19分科会 障がい児教育 特別支援教育をめぐる環境は改善に向かっているのでしょうか。コロナ禍、特別支援教育を必要とする子どもの実態、また、どのような実践が取り組まれているかを議論したいと思います。</p>	<p>第20分科会 父母市民の歴史学習 市民との歴史学習をどう進めていったらよいかを討議していきます。新しい視点での歴史学習や戦争展・平和学習、日本国憲法にかかわる報告などが出され、熱い討議がされています。</p>
<p>第21分科会 社会科の学力と教育課程 社会科の理論と実践を通して、児童・生徒が獲得する知識や形成していった認識について論議します。また、どのような目標・内容・方法で計画され、実践されたのかを丁寧に検討していきます。</p>	<p>第22分科会 授業方法 「子どもが考え活動する授業実践」・「子どもが成長する授業とは」の2つの柱に沿い、参加者目線に立って意見を交流します。小中高の実践がまとめて聴け、例年、学生や若手にも好評です。</p>

分科会レポートのダウンロードについて……8月3日の申込みメッ期限までに大会参加申し込みをした方は、大会報告レポートを、8月7日よりダウンロードすることができます。

地域に学ぶ集い 8月10日(木)18時00分～19時30分

古文書から見える地域産業の歴史—近世上方酒造業を事例に 白鹿記念酒造博物館 大浦 和也

1 内容 古文書という原典には様々な情報が記されており、歴史を学ぶ楽しさが詰まっています。ここでは江戸時代以来兵庫県西宮市で酒造業を続ける、白鹿醸造元辰馬本家酒造に伝わる古文書を素材に、江戸時代に発展した上方酒造業の具体的な歴史について紹介します。

学童集団疎開に関する資料発掘とその普及活動 兵庫の「語りつごう 戦争」展の会 上野 祐一良

2 内容 「子どもたちと戦争」を戦争展のテーマに掲げ、戦争が子どもたちに最も大きな影響を与えたのは集団疎開だとし、展示のために資料採集を行い展示にこぎつけました。引率された教員の日記、スケッチブック、1945年9月1日に「疎開生活老年のあしあと」と題された51名の作文集などの展示及び普及を紹介します。

90年前、平和・人権・自由求めた 兵庫の教師たちの「教育と愛国」

治安維持法犠牲者国家
賠償同盟兵庫県本部 田中 隆夫

内容 侵略戦争推進/天皇制国家奉仕の教育から人間の尊厳・子どもを主人公へ、初の教員組合結成=平和を希求し女性や働く人の権利を守る現憲法作成の力となった兵庫の倉岡愛徳、大田耕士ら20人の教員たちについて紹介します。今こそ彼・彼女から学び、平和憲法を守り、民主教育の力に！

3

地と繋ぐ授業を求めて—兵庫の地域に根ざした教育の記録

元小中高校大学教員 間森 誉司
元小学校大学教員 岸本 清明

内容 1960年代末から始まった兵庫県但馬の地に根ざした故森垣修氏による「祖父母に学ぶ教育」と「百マス計算生みの親」故岸本裕史実践は、学習に遅れがちな子どもに目を向け、すべての子どもの全面発達を願い、地域の父母と連携して進めるという点で共通した教育運動です。これらの実践が、どう継承・発展され、新たな地域学習を生みだしてきたかを語ります。

4

地域・労働・平和を学ぶ

—職場体験学習を活かした教育課程づくり

環境教育ラボ☆スマイルアース代表 小川 嘉憲

内容 阪神淡路大震災で震度7の激震地の中学校での体験を生かして「生徒が主役の学校」づくりに取り組みました。県下一斉の「トライやるウィーク」という職場体験学習を活かした教育課程づくりをすすめ、1年生は「地域」、2年生は「労働」、3年生は「平和」を学びました。全体のテーマは生徒が主体的に学ぶので「探そうみんなの生きる道」とした取り組みを紹介します。

5

地域の戦争遺跡を学び、発信する高校生

兵庫県立高校教員 稲次 寛

内容 地域に残された戦争遺跡である^{うずらの}鶉野飛行場跡について学び、戦争体験者の話の聞き取りやツアーガイドに取り組む兵庫県立北条高等学校の高校生についての実践を発表します。

6

高校生がとりくんだ地域コミュニティづくり

兵庫県立高校教員 福田 秀志

内容 「防災・減災」「在宅療養・高齢者の孤立対策」「子どもの居場所」をテーマに「地域社会での顔の見える関係づくり」に高校生ができることを「サービス・ラーニング」の方法で実施してきました。これをシチズン・シップ教育に繋げていくためどうすればいいのか交流したいと思います。

7

阪神・淡路大震災から得た教訓

—自分事として捉える

語り部 KOBE1995 代表・小学校教員 長谷川 元気

内容 講師は阪神淡路大震災発生当時、小学校2年生。父と母、年子の弟、1歳半の弟の5人家族。木造2階建てのアパートの1階に住んでいたが、地震により全壊。母と1歳半の弟を亡くす。現在、神戸市立若宮小学校の教員。語り部 KOBE1995 に所属し、休日は語り部として活動しています。今何を大切にしながら語っているのかをお話します。

8

教科書問題

教科書ネット21事務局長 鈴木 敏夫

内容 ①教科書攻撃の現在：教科書記述に対する政府の強権的な介入により、「従軍慰安婦」、朝鮮からの「強制連行」の用語、記述の削除の問題が起きています。教科書攻撃の今を考えます。②教育現場はどうなっているか(小学校)：小学校教科書の採択の年です。新しい社会科教科書の問題、教育ICT化の進捗が学校現場へどのような影響を及ぼしているのかを考えます。

9

日韓交流—2025年から韓国の歴史教育はどうなるのか

歴教協日韓交流委員会 / 韓国・^{フフン}華虹高校 ^{イギョンファン}李慶勳

10 内容 2022年末に発表された韓国の2022改訂教育課程[指導要領]により、2025年から韓国の学校では新しく編纂された教科書で学ぶこととなります。特に「東アジア史」も含めて、この改定でこれまでの高校の歴史教育にはどのような変化が予想されるか考えます。

日中授業交流—1949～1972日中間における民間交流

歴教協日中交流委員会

11 内容 南京の金陵中学（日本の高校に相当）とオンラインで実践交流会を行います。テーマは、「1949～1972日中間における民間交流」を予定しています。戦後の日本と中国の民間交流を南京ではどのように教え、生徒たちは何を学んでいるのでしょうか。参加者の皆さんと交流したいと思います。

現地見学

〈企画〉歴史教育者協議会 / 〈旅行企画・実施〉富士国際旅行社

◆受付締切は、**7/21** **金**です。各コースの募集は大会参加者を優先し、定員に達し次第締め切ります。定員枠に余裕がある場合には現地見学だけの参加も受け付けます。受付状況は歴教協HPでお知らせします。見学箇所は諸事情で変更することもあります。今後のご案内でご確認ください。

※右の数字は、定員〈最少催行人数〉旅行代金

Aコース 宝塚コース（宝塚の光と影）

25<20>5,100円

8月12日 9:30 阪急宝塚駅改札口集合（ロッカーに荷物を預け、貴重品・メモのみ持参）→花のみち→9:40 宝塚大劇場正門付近宝塚海軍航空隊の碑（武庫川堤防朝鮮人労働、宝塚空襲、ピースMap等資料配付）→10:15 宝塚歌劇の殿堂（被爆した園井恵子さんの展示、歌劇のビデオ10分、歌劇の歴史、戦争中の演目等）→11:05 手塚治虫記念館（平和アニメ上映10分、館長さんよりガイド約5分）→11:50 すみれミュージアム（宝塚音楽学校旧校舎。学校の歴史、戦前のポスター、舞台装置、ビデオ上映10分）→花のみち→12:45 阪急宝塚駅解散

Bコース 西宮・神戸コース（小説『火垂るの墓』を訪ねる）

20<15>10,800円

8月12日 8:50 阪急西宮北口駅南側改札口ロータリー集合、貸切バスにて出発→9:25 名次神社→9:45 西宮震災記念碑公園・「小説 火垂るの墓 誕生の地」碑→10:25 法界聖霊塔→10:35 井上家の家跡→喫茶店ラ・パボーニの跡地の前を通過→10:55 西宮市立郷土資料館・西宮市平和資料室→11:30 西宮回生病院→11:50 堤防から御前浜・西宮砲台を望む→昼食→13:00 白鹿記念酒造博物館→14:15 菊正宗酒造本社前の「嘉納治五郎翁生誕地」碑→14:35 御影公会堂→15:05 石屋川右岸の『火垂るの墓』モニュメント→15:35 神戸市立成徳小学校・せいとく公園→16:25JR新神戸駅→16:35JR三宮駅解散

Cコース 神戸コース1 (神戸の街で世界を歩く)

20<15>4,900円

8月12日 8:45 阪急神戸三宮駅北側集合→9:05 シティーループバス乗車→9:30 ジャイナ教寺院→10:00 ユダヤ教シナゴーク(外から見学)→10:20 海外移住と文化の交流センター→11:00 神戸ムスリムモスク→11:40 神戸ハリストス正教会→12:05 神戸ユダヤ共同体(神戸ジューコム)跡地→13:00 阪急神戸三宮駅・JR三ノ宮駅解散

Dコース 神戸コース2 (非核神戸港をめぐる)

25<20>7,000円

8月12日 9:15JR元町駅西口集合→9:30~10:40 学習会・非核「神戸方式」を学ぶ(まちづくり会館6階会議室)→11:00 神戸シーバス乗船→12:00 下船、まとめと質疑応答→12:20 戦没した船と海員の資料館、非核神戸方式の碑・平和の美海ちゃん像、神戸港平和の碑、華僑博物館→12:45 南京町平安門にて解散

※「戦没した船と海員の資料館」と「神戸華僑歴史博物館」は説明のみで入館しません。

大会申込みについて

■大会参加のしかた

兵庫大会は、大会会場である関西学院大学西宮聖和キャンパスでの現地参加のほか、オンラインでも全体会・地域に学ぶ集い・分科会(第1分科会を除く)に参加することができます。参加費は、現地参加もオンライン参加も同額となります。オンライン参加は8月4日以降の受付はできませんのでご注意ください。

■申込み受付期間

事前申込みは、2023年5月5日(月)~8月3日(木)です。当日受付もありますが、参加費が変わります。宿泊・現地見学は7月21日(金)が申込み締切です。

■申込み方法

大会と宿泊・現地見学の申込みは、富士国際旅行社が受け付けます。次の①ウェブ申込み、または②紙媒体での申込みのどちらかでお申込みください。

①歴教協ホームページから大会参加申込みページを開いて、必要事項を入力して送信してください。(自動的に富士国際旅行社へ送信されます)

②下記、AかBで申込み書類を入手し、富士国際旅行社へFAXまたは郵送にて送付してください。

A:最終ページの「参加申込み書類請求書」で、富士国際旅行社へFAXか郵送、電話で申込み書類一式を請求 ※郵送での資料請求をされた場合、郵送料として別途140円お支払いいただきます。

B:歴教協ホームページの大会参加申込みページから、申込み書類をご自身でダウンロード

申込先 取扱旅行業者:(株)富士国際旅行社(観光庁長官登録旅行業第84号 JATA 正会員)

〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7 ヒューリックみなとみらい11F-4

TEL 045-212-2101 FAX 045-212-2201

■申込み後の流れ

1) ウェブ申込みの場合

申込み確認後、富士国際旅行社が予約確認書を添付ファイルで送ります。予約確認メールを受け取った方は、予約確認書記載代金を2週間以内に入金してください。入金をもって申込み完了です。

2) FAX・郵送申込みの場合

FAXがある方は、富士国際旅行社が予約確認書をFAXにてお送りいたします。メール及びFAXがない方のみ、富士国際旅行社が郵送にて予約確認書をお送りいたします（郵送料として別途140円お支払いいただきます）。予約確認書を受け取った方は、予約確認書記載代金を2週間以内に入金してください。入金をもって申込み完了です。

3) 申込み後のキャンセル

申込み後のキャンセルは、所定日から取消料がかかります。7月22日（土）以降の取消しは、返金できません。詳細は、大会参加申込みページに掲載する「申込みのご案内」をご参照ください。

4) 事前振込がされない場合

申込みは完了していませんので、現地参加者は当日申込みの料金となります。オンライン参加者にはURL等が送れませんので参加できません。くれぐれもご注意ください。

5) 会場参加者は、参加票をプリントアウトして持参するか、ダウンロードして受付で画面を提示してください。オンライン参加者には8月6日までに全体会・地域に学ぶ集い・分科会のURLを送りますので、所定の時間に入室してください。

■大会参加費（事前申込みは割引になっています。）

参加区分 事前参加登録費

会員・教員 おひとり5,500円（当日の現地参加は6,000円となります）

学生・U25・市民 おひとり1,500円（当日の現地参加は2,000円） ※25歳以下の会員がU25です。

高校生以下無料／学生ボランティア無料（事前登録が必要です）

*教員退職者は事情の許す限り、会員・教員参加費での申込みにご協力ください。

■昼食のパン販売について

大会会場近くは住宅地のため、飲食店・コンビニがほとんどありません。夏休みで学食も営業していません。そこで大会申込み時に、8月10日・8月11日のパンセットの予約を受け付けます。各セット、パン2個と飲み物付きで600円（税込）となります。

Aセット・手作りカスタードのクリームパン／焼きカレーパン（全粒粉50%配合）

Bセット・クリームチーズとレーズンのパン（全粒粉20%配合フランスパン生地）／トマトとチーズのパン（地場産トマトを生地に練りこんだパン）

Cセット・フランスパン（フィセル）（全粒粉20%配合フランスパン生地）／つぶあんパン

販売店の「小麦生活」は小麦の自家栽培、製パンを地域の子どもたちと共に食育活動にとりくんでいる国産小麦専門店です。申込みされた方には、参加票とともに、メールにて「パンセット引換証」を富士国際旅行社よりお送りします。プリントアウトして持参するか、スマホの画面をご提示下さい。

■保育・出張依頼状など

*保育（3～12歳）を予約制で実施します。ご希望の方は、7月14日（金）までに歴史教育者協議会へ、電話、FAX、メールまたは郵送でご連絡ください。保育料はお子様1人につき1日5000円です。

*出張依頼状が必要な方は、所属長宛の84円切手を貼った封筒を同封の上、歴史教育者協議会へ送付してください。申込みと入金確認後発送します。

■宿泊について

* 宿泊手配を希望される方に、次のホテルを予定しています。

宝塚ワシントンホテル (JR 宝塚駅から徒歩3分 / 阪急宝塚駅から徒歩1分)

宿泊代金 (一人一泊あたり、朝食付) 12,800円 (シングル部屋)

12,000円 (ツイン部屋・一人あたり)

* 宿泊設定日：8月9日(水)・10日(木)・11日(金)

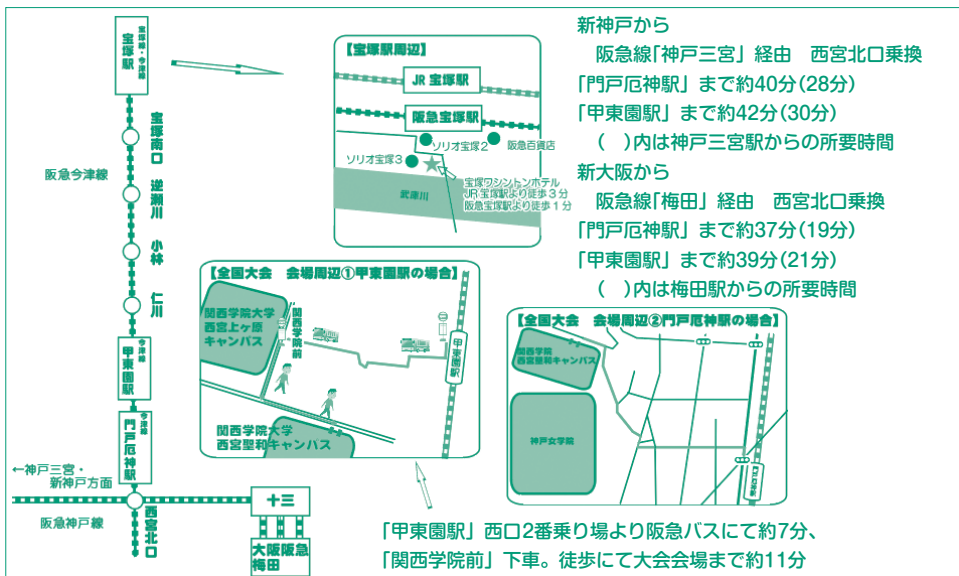
* 宿泊部屋数に限りがあるので、お早めにお申し込みください。

■その他

* 手洗い・手指消毒・検温等 基本的な感染症対策をお願いいたします。

* オンライン参加をされる方は、カメラオンでの参加にご協力ください。

■案内図



主催 一般社団法人 歴史教育者協議会 第74回兵庫大会実行委員会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚 2-13-8 千成ビル 歴史教育者協議会内

TEL 03-3947-5701 FAX 03-3947-5790

E-mail jimukyoku@rekkyo.org <https://www.rekkyo.org>

後援 西宮市、西宮市教育委員会、関西学院大学

歴史教育者協議会第74回全国大会（兵庫大会）参加申込み書類請求書

お名前		会員 非会員 (○印を)
ご住所	〒	(TEL)